

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局：大代地区公民館 ☎ 364-8442

あいさつは心のふれあい 出会った人と あいさつしましょう

子ども達は幸せです

東小学校父母教師会

会長 本郷 貴良

東小学校校長 小池 秀一

毎月のように、教育委員会から不審者情報が学校に寄せられ、その度に保護者や教職員は不安な気持ちになります。でも、当学区では、地域の皆様が登下校時に、街頭で子ども達の安全を見守って下さっていると思うと、本当に心強い限りです。

また、子ども達も、皆さん方の顔をすっかり覚え、元気なあいさつをするようになったと聞くに及び、うれしい気持ちでいっぱいです。と同時に、子ども達は地域の皆さん方に守られ、本当に幸せだなと思います。

今後とも子ども達のことをよろしくお願い申し上げます。

街から灯が消える

大代南 星 繁子

今年二月大代商店振興会の荒木さんが来宅、三月いっぱいまで街路灯の点灯を止めるとの報告があり大変驚いております。理由は大型店の進出や流通の変動で商店会の運営が成り立たなくなると、やむなく止めるとの事でした。思えばこの街路灯の設置は当時の商店会の方々のボランティアによって実現されたもので私たちが声かけがあり、それを了承し八万円の寄付と月々千円の電気代の負担だったと思います。今

の街灯は二台目で取替の時は新たな十五万円の出費がありました。こんな不景気に「なんで？」と不満もあったのですが、街が明るくなり、何よりも夜部活で遅く帰って来る中高生が安心して通れるように金銭は問題でないと思いうようになりました。最近緑地公園の街灯は更新整備され、安心して通れるようになりました。

いいバランスで安全が保たれているのに街灯が消えたら暗闇になってしまいます。何よりも部活などで頑張ってくる中学生や、ことさら女の子もおります。その他自転車通学の高校生、夜のジョギングの人々の安全を守ってやりたいのです。現在設置している街灯の維持には異存はないと思います。ただこれからの維持管理費の負担が重荷なのです。中央では好景気といいますが、末端の私たちに全然実感がありません。今まで商店会の人達と私達有志が頑張ってきました。もう限界です。道路はその界限のものではありません。万人が利用する公のものだと思います。消防署の方の災害時のお話で自助・共助・公助との講話があり関心を持って聞いた事がありました。今回話を当てるはめると商店会や私達は自助の役割を担ってきたと思います。今後必要なのは共助・公助だど理解しております。どうぞ街から灯を消さないで下さい！住み良い街にして下さい！

若人を育てる

大代東 本郷 新治

現代の若い人たちの生き方を非難するわけではないが、自分自身に責任をもつて行動してほしいと思います。時代がどのように変化しても人間の根本姿勢は変わりません。今の若い人たちはこれから成長してやがては経営者の側に坐るべき人であり、また、未来の日本経済を背負っていくべき人たちなのです。

したがって私は、企業は利益だけのためにあるのではなく、若い人々を育て鍛えていく場所だと考えています。そして若い人々を育てるには、よい社会人にするのが、私たち先輩のみなさんの役目だと思います。

人間にはよい師をもつことが必要です。成長は自分ひとりではできないのです。よい師、よい先輩、よい同僚をもつことが大成のポイントの一つだと思います。社会には若さを誇りとしている人が多数います。私は進んで若い人の仲間入りをして、できるだけみなさんのお役にたちたいと思っております。経営者と従業員としての関係ではなく、一人の人間としてのつき合いです。とはいえ、仕事も大切です。とくにこれからは技術革新によって、新しい機械や工具の勉強もしなければなりません。また、販売のほうも、流通革命といいますが、有名デパートや、ビュッレストアーがどんどんと販売網をひ

ろげています。生産の面からも、今まで以上のきびしさが要求されてくることでしょう。どうか確固たる信念を維持し、根性とフアイトをもやして下さい。

第十三回東豊中学校

吹奏楽部定期演奏会

○日時／五月四日（金）みどりの日

午後一時半開場 午後二時開演

○場所／多賀城市民会館大ホール

○入場無料

○曲目「バラの謝肉祭」他

ボーリング大会を終えて

コミュニティ体育部

大代地区コミュニティ推進協議会主催のボーリング大会を二月二十五日、一兆ボーリング場で行い三十名の参加を頂きありがとうございました。

入賞者は

優勝 後藤 昌英様

準優勝 針生 吉治様

第3位 田村 昭男様

また、大会には新日本石油仙台工場様より多数の商品を提供して頂きありがとうございました。

本年度の体育部の事業終了ですが次年度も地区の多数の方々参加を願っております。

「祝儀 お見舞いは 三千円を限度にし お返し物はしなないようにお互い気を配りましょう

戦争と平和(四十九)

大代南 後藤 清一

ウラチオストック岬の突端に鎮魂・平和・友好の碑が建っている。自然石の大きな物で、ロシア側に向けた碑面にはロシア語で“平和永遠に”と刻まれ、日本海を望む碑面には第二次世界大戦終結五十周年を記念し、再び歴史の過ちを繰り返さない事を誓いつつ、ここにこの碑を建立する。“鎮魂・平和・友好”のためにこの文言を両国語で刻んだステンレス製の金属板がはめこんである。この碑は日口協会が協力して大戦終結五十周年に除幕され、堂々と建っている。この碑は海風を受けながら、日本とロシアの友好の礎として永遠に建ち続けてほしい。日ソ間の過去の歴史を辿れば日本軍の残虐行為等、日本への不信の感情を持っている人も多くいる。今回のシベリヤ抑留者が三重苦に苛まれた体験に匹敵するか、逆にロシアの人々が日本軍の行為による事実を知る必要があるだろう。“再び過去の歴史の過ちを繰り返さない”この事は一方通行ではなく、両国に向けられたものではないだろうか。我々抑留者はロシアの人達が個人として人種の差別なく食料の援助をしてくれた事も事実であり、このようなロシア庶民の温情に感謝を忘れるものではない。中央アジアの大都市では、アパート・幼稚園などの日本人抑留者が建設した建物が今なお立派に使われているのに

出会う。これ等の建物は大地震にもビクともしなかったと彼等は日本人の仕事の出来栄に驚くのである。戦争と捕虜、極めて不幸な状態の中でも交流はあったのである。さて、極東で不凍港で知られるウラチオ軍港がある。少し離れた入江にナホトカという天然の漁港がある。背後に続く丘の斜面には野花が咲き乱れ、海からの潮風と秋の日差しを浴び静かにゆれている。入ソ当初のナホトカは淋しい寒村だが比較的温暖なところであった。入ソして三年は既に過ぎ帰還も始まり我々がシベリヤの奥地から汽車を乗り継ぎ最終集結地に辿り着いたのがここナホトカであった。漁港は一変し、湾岸は整備され、学校・公園映画館等と街としての形態に、また、丘は造成され、中層アパート群が林立している。これ等も総て同胞が空腹を抱え警備兵の銃を気にしながら何の報いもなく働かされ彼等は日本人のあらゆる技術を求め今も使用されてる事実に驚きと賞詞を送っている。こんな誇れる交流は各所にあつたのです。このよ

うなナホトカは帰還の港、感動の街として忘れる事はできない。当然百万近い邦人が帰国のためここを通過して行ったのだから。他方悲しい事は帰還途中の車内での死であった。弱りきった体は悪化しどうする事もできず逝った友、生き残れた者も偶然な運命の悪戯であろうか、病気になるても薬もない

食べ物もない、相談する人もいないただ生きて帰りたい。死ぬのではないかと思う不安。生きて帰って可愛い日本の娘と結婚し人間としての喜びを普通に求めているだけなのだ。前途に夢多い若者達であるのです。

小倉百人一首入門(その五)

大代西 藤田 遊子

「高砂のをのへの桜

咲きにけり 外山のかすみ

たたずもあらなむ」

前中納言匡房

「概訳」桜の花が高い山の峰に咲いたことであるよ。里の山の霞よどうかたちこめないでください。

「主旨」遠い山に美しく咲いた山桜を思う心。

「作者」大江成衡の子。幼少から賢明権中納言、正二位。「江談抄」などの著書がある。七十歳で没

ふれあい川柳

大代西 藤田 遊子

新社員朝から花見の場所を取り
お花見の特等席に犬の糞
武蔵野に凜と架かるか浅野虹
給食費未納の児童はよく太り
改革は議員年金削らざり

ふれあい俳句

大代西 松浦 富男

暖冬に仏頂面の雪女郎
稲取の釣びな下がり湯宿かな
現代を切長で見ると享保かな
湯の宿の窓を開れば冬の音
未だ嫁ぬ娘がいて早きひな納め

笠神西 本郷 勝子

紙ひいな小さき目をしてほほ笑ぬ
三月や三日月ゆらす風のあり
眠る山流星もあり雲流れる
白魚や白魚の手で揚げし夕餼
枝に雪雪を啄む小鳥かな

大代地区公民館だより

「平成十九年度五月開講

講座受講生募集」

◆申込受付／四月十一日(水)

午前九時から大代地区公民館

体育室にて受付開始

◆来館の上直接お申し込み下さい。

(電話での受付は致しません)

◆定員になり次第締め切らせていただきます(先着順)

◆開講講座の詳細については、広

報多賀城四月号をご覧ください。

問／大代地区公民館へ

☎36418442